



法燈三百六十年
曹洞宗
慈雲山松田院

〒370-2116 群馬県高崎市吉井町大字多胡七七六

龍源寺



●この部分は参拝記念の御朱印・スタンプ・写真・俳句・スケッチ
など自由にご利用ください。



寺 歴

龍源寺の正式名称は、慈雲山松田院龍源寺。寺伝によると、当寺は華嚴存永大和尚創建（生没年創建年共に不詳）以来、五代目の普眼慶察大和尚代に山崩れのために堂塔墓地共に埋没した。その後、正保三年（1646年）、当地領主の旗本門宗六左衛門公の奇進により、仁叟寺九世日洲高朝大和尚を請来し、曹洞宗として開山。

明治二十六年（1893年）、二十三世祥雲天瑞大和尚代に火災にて堂宇が焼失。翌年に檀信徒の尽力にて再建。埼玉県陽雲寺より、同寺末寺瑞福院に安置したる仏像を拝迎し、これを本尊とした。昭和二十八年（1953年）、二十八世大濠隆司大和尚代（現・仁叟寺東堂）に庫裏・長屋門を修築。昭和五十年（1975年）、二十九世大嶺啓司大和尚代（現・仁叟寺住職）に本堂・庫裏の改修、山門・長屋門などの新築及び墓地の造営などを行った。

境内には三十世現住職代に垂影山大権現を境内地から本堂に移動。垂影山大権現は当寺の象徴的存在で、養蚕に功德のある仏様としてよく知られている。魚介供養のため池の辺りに安置した

る魚籃觀世音菩薩立像、道祖神や庚申塔をはじめとする石仏・石塔が数多く祀られている。また、二十六世大義忠久大和尚はじめ大東亜戦争で亡くなられた英霊の戦没者供養塔、江戸期に地区の住民を救った、義民白田六右衛門供養塔も、多くの人々の協力で建立された。

爾来、約三百六十年もの間、歴代住職そして檀信徒の協力の下、法燈を絶やすことなく現在に至っている。





龍源寺公園墓地分譲中

春は花 夏ホトトギス 秋は月 冬雪冴へて 涼しかりけり (道元)

閑静な上州の大地に抱かれた、自然豊かな龍源寺公園墓地、現在分譲中です。

上信越道 吉井I.C.から車で1分という好アクセス。この機会に是非ご検討ください。



墓地面積	永代使用料
6尺 6尺 (181.8cm×181.8cm)	200,000円
6尺 9尺 (181.8cm×272.7cm)	250,000円
9尺 9尺 (272.7cm×272.7cm)	300,000円

※ それ以上の広さ等は相談に応じます。お気軽にご相談ください。



龍源寺の



30世住職
渡辺龍道

30世住職 略歴

1976年3月22日生

早稲田大学教育学部卒

中国北京語言文化大学留学

大本山總持寺修行 (2年間)

新聞記者を経て現職

(御本寺仁愛寺副住職業務)

龍源寺の主なほとけさま

- 龍源寺御本尊
(本堂) 釈迦如来

- 養蚕倍盛、家内安全
(本堂) 蚕影山大権現

- 魚介供養、海難厄除
(境内) 魚藍観世音菩薩



御本尊 釈迦如来

年間行事

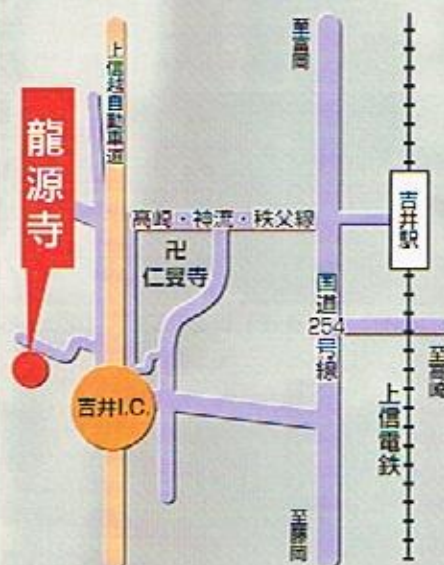
1月1日	年頭祈禱
1月3日から4日	年頭挨拶
2月3日	大節分会※
2月15日	釈迦涅槃会※
3月17日から24日	春彼岸会
3月23日	旧蚕影山例祭
4月8日	花祭り(釈迦誕生会)※
4月29日	大施食会法要兼蚕影山 祈禱会
7月13日から16日	県外檀信徒棚経
7月下旬	子供禪の集い※
8月13日から16日	お盆
9月20日から26日	秋彼岸会
12月8日	釈迦成道会※
12月31日	除夜会二年詣り※

普道教室 毎週土、日曜日 ※ 梅花講 隔週水曜日(昼) ※
 専道教室 隔週水曜日(夜) ※ 坐禅会 毎週水曜日(夜) ※

※は、御本寺・仁奥寺において修行予定です。

ご案内図

- ・吉井駅より車で5分
- ・吉井I.C.より車で1分



電話/FAX.027-387-5859 e-mail : ryugenji@alpha.ocn.ne.jp

URL : <http://www.citydo.com/prf/gunma/guide/sg/220000334.html>